

中央図書館の館長を公募します



中央図書館は平成7年の開館後、たくさんの市民のみなさんにご利用いただいています。しかし、近年の多様化する市民ニーズに対応し、より一層のサービス向上を図るためにも、市では新たなまちづくりの中での"新たな図書館像"を求めて模索をしているところです。

一方で、いわゆる"団塊の世代"の大量退職時代を迎えて、造詣、経験ともに豊富な方がたくさんおられます。そこで従来の図書館の枠をこえた"新しい図書館"を目指し、館長を民間から公募することにしました。意欲ある方のご応募をお待ちしています。

新しい時代の
新しい図書館
を目指して

【応募期間】1月15日(火) ~ 2月22日(金)

詳しくは人事課(☎82-1124)までお問い合わせください。なお、応募方法、選考方法、勤務条件などを明記した公募要領は市ホームページに掲載しています。

市長から市民のみなさんへ

64

山口市長 白井 博文

中央図書館の館長を公募します

平成19年度の「崖っぷち予算」において、縮小された事業の一つに図書購入費の大幅削減がありました。市民のみなさんからの反響も大きく、様々なご意見をいただきました。もちろん、ご希望に添えない心苦しさはありましたが、一方で、本の貸し借りを中心とした業務にこだわらず、市の社会教育事業全般を広く視野に、文化発信の拠点施設としての図書館の役割について、今一度検討する時期に来ているのではないかという思いが生まれる契機にもなりました。

あれから一年が経過し、図書費の予算についてはそれなりの手当てをするつもりではありますが、並行して、“新たな図書館像”を模索することを目的に、市職員にはない、柔軟な発想をもった民間の人を図書館長として起用し、館の運営を委ねてみることを決めました。

あらかじめお断りしておきますが、今回の公募は図書館事業に造詣の深い方がいらっしゃった場合のみの採用となります。残念ながら適任者が見つからない可能性も考えられますが、今回の公募は教育事業における一つの“挑戦”と位置づけて行うものです。特区認定を受けるまでに“成熟”した「生活改善・学力向上プロジェクト」を引き合いにだすまでもなく、将来を切り開くためには思い切った“挑戦”が必要な場合があります。図書館事業については、今がまさにその時であり、新館長のもとで市の文化事業が大きく転換し、総合計画にある「人が輝く心豊かなまちづくり」の実現に向け大きな一歩をふみだす可能性も高まることでしょう。

斬新な発想と大いなる意欲を持った方からの、積極的なご応募をお待ちしています。

